には九日札解御殿小様市に向は

日支交渉の折も折

御少恕の後、同一時十

を、角八は天水桶 郷観の歩みが格子

ぜつてゐた。

つくもつかねえ だならこつもが

(郵券代用も可) 本舗へ

MAX

百貨店にあり到る所の築店

大のかつかとり ツて方法のヤイ

1世久能木のアン半顔の回顧

木る

遊行的十日

2個交上重大場面に遊習しつくある時間地において又も反当ア

- いれなかい わた。適の人つ やせんよい が入ってるんで

うてるからの だれがこ が悪いから、お

(1)

東京日本衛皇町 東京日本衛皇町

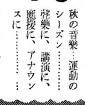
部店

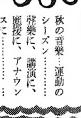
手に頼みやす

で見たと記人御申込を郵券一銭材入 京城日報 試藥進呈 定性

音郎を明朗に…… 咽喉を樂にします 三十幾・六十錢







音 睺 咽

いると共にからとさればれて

日の月が武ツ回

、あたふたと表

省所に鎌はせ っきつたんちゃ

に水角の除田

……こんな場合

聲が寝れる! 咽喉が痛い!

咳 がてる!

それより肝滑の部け口の方が先だ

うだかの・・・

元へ行つちまか 別能ねえなアミ いっこのます だら的なんざい えせんか。 二二

呼吸器疾患の重節をします、 はよくロ中、咽喉を護り、 はよくロ中、咽喉を護り、 性が 一の一般

/[候]因π護

初。 秋^{(*};

世二續作

13

風邪を引き易い

に於て嚴軟批級に能行される

社頭に参向射使展に於て一夜 ら幣吊を牽戴して魔鼓と共に

城府民の各額代も参列の智で徴族、文章、武官、各道々民、京

年の系統を誇り、その名誉を傳へ、日益京城本町三中井ギヤラリ・神代の選上として本邦陶窯中三十、即伊部窯元から田磯八日から・神一日まで、二中井で、人気を呼ぶ

備前燒の即賣展開かる

心人が八日夜東大門署員に連捕さ

重調をくどり膨々としてゐた强盗

心行後二ヶ年半の間巧に當局の契

逃亡の强盗 發見さる

緊張、署員を登配してゐたが

意思、雅戒体浴する智である

--七日勅使参向、嚴かに行はる

例祭

*、午前十一時から午後まで開

午町十一時から正年まで詩店

相當の値上りを豫想さる

内地が割その他に解移出されても一局では生殖が開始であるだけに、 三百萬段あるが、二、三百萬貫は「は自然開議するだらう、しかし當

當局は暴利を警戒

事物誕生以水瀬四十日も「治した」屋に最よれを題して特別手転し、東城西大門駅では蓬萊町東入州語(指頭一層を踏んであるので、総針

より整務局では国境の避り跡となつた第い刑職者に見算を贈り組々変彰する模様である、なほ總督、總監より用版を認した

具は名祭の職死をした、また辰村嘉一巡査は頭部に貫通銃部を受け生命危篤である。この報に、整際に大いに骶関と結果、駿河名を開始せられるに駆撃したが、この郷曹で養原際に堀江利吉、 辻弘一兩「朝入暦四十分祭中北智明名の智能登出面 谷 竜出張所に濃霧を利用して鮮瀬合流匪約五十名が襲來すりた時十分祭中北智明名の智能登出面 谷 竜出張所に濃霧を利用して鮮瀬合流匪約五十名が襲來

字勢の警官隊よく

奮戦し四人を

殪して

撃退

巡査二人名譽の戰死歐

團襲來

※明文化展――京電主催三越で

直ちに本署も出動

應援隊追擊

手幣中 三利重治さん長女玉姫ちゃんつ 江流町一ノ五四朝で電場が同町五

中で仁川方面へ釣りに出かけたが

檢束したもの百八十名、その内収収り切り大日までに不設檢問から

(イキングに ペルメル

盗んで變裝

圖々しい男

前三時間開始者で近八一齊

B厳重な味犯綱を設つた…と西小 とたつて皆内一斉に観込、窓行 町の風跡事件だ、既然機気除は

九日午町三時から討法係が中

中の指で各地を轉々として流れ込 八日夜十時半晌自宅で引加へたみ蒸加らの顔をしてゐる津戦期、

すると、同人は昭和九年音思層大 人に犯罪容疑

一名を拘束他は物放した
耐べの結果犯罪容疑の疑める高州

したので九日午後一時で締切。昨夕刊に設設の本種主管内力

城

H

金剛山紫紫傳統

恐峰紫藍し、院被、恋人樹類を目復取シーズン来つて京城網番點院

家族が心配して龍山岩へ摂症を額九日朝になっても闘宅しないので

ひ出た、坂口さんは薄茶の古コー

警官ら勇敢に活動

地方二十回を、陶祭神郎門田料と 門日から十七日まで「郷大に興行さ 京城神社御列格変配臨時大祭は十

して百十圓をそれたへ奉納に決定

漢江神祠の

金刀比辨祭

れるが京城所では開阪時大祭に供

府から供進

え(で)は八日朝十時祖田原郷河 てある現迹江道殿道景等衛坂口忠兵伽 てある

的談と見せ

鐡道局の守衛

溺死かど心配

てゐるが深きを知らないため既は

編、金剛慢中時前を

機献金

京城の出席者

ね都市施設調査のため府留当時 間間催の都市問題質談に列席を兼

が地の観察の途に上る、

わし、と来観の聲をあげ

初時代を齎す

は十日午前九時半から観測所替 ||川東計】十四回原鮮東安協議||放送時間に翻するもの合計五十

の多きに上り布村大邱測候所長の

「観北の水災について』國常所長一

より秋季祭典金万比市祭で帰行 京城江波河南では十日午町十一時

注意なさい。時事態系被してある所的分類の整備師の中で八七月年後もの機能事物別人復命に顕著となっ

があれ、州分銀関旗とみせかけ近一段の現立す九国の外十八金陵中「各郷に手配」犯人政策中であるがあれ、州分銀関旗とのは入り、け前職をからせた上、刺其限了で「西大内閣では田田により直に同内、在後十一時晩気境関小門町在り端(高となり、ま人夫婦を驅で縛り上一度した、個人は開名採出七八歳で年後十一時晩気境関小門町在り端(高となり、ま人夫婦を驅で縛り上一度した、個人は開名採出七八歳で「中歌人徒歌経の以金級がる領海派

また京城に二人組躍盗

宣北

醫者がス・メル強養のお菓子

存知ですか?

3菜株式會

地形所裏の那特所使用。高語

犯人は案外早く檢學されん

『心に努めてゐるが、元町四

州戦年間居を構へてある天服氏

左蛇によりなので西大門等では

死してゐる四十五般此の順。朝師

作 午 供 使 使 使 便 便 便 仁川の潮時(10)

カルケットの文字があります。

に に 所 別 思 素 板 地 方 の

圖書館繁昌

品不足であった

の総越しが少かつたのと、本立国 力は崩潰さのため木炭概念が十分一

上海を思望してゐたが、純数での

本年は全く値下りを見たかつた程に、三割方の値下りがあつたのに

元町

是非とも四十六尺に の堤防は たが豆城を初め斉王要都市に在

語が別に入

商人の暴利については十分原原す

今度の事性は犯人の人相かわかつ

があったので木石の長以下金

八日夜またも西小門町に罹盗事物

むるので案外早く足かつく事件

急をさらに高めることになった、

海軍映画のターを開し一般が注

思想の曹及と言洋

では、既報の如く

前八時半から京師運動場で各町對

町對抗競技

京城青年團

十銭を要するが、早くも各方面に 人塩無料、但し場内整即のため、

でま日十二りよ日十

京城

呼子樣廣帶賣出

原睛衣裳 賣出し

競技陳列品の新作品

新界に跨る 新界に跨る 新新な柄行

が一番に

ぱ。り。

||込學部連基 |||京城資金町六丁目(訓碑記即)







+



全般天氣豫報的



中百条百八二症病下性慢性急

東河西事映画部場後、東河西事映画部場後、 ボーラ・ネグリ

ブオルスト フオルスト

隨四九町碧末北府城京 三九八三本三八四本電

原聚斯二丁目入口 图里 坂 井坂井耳鼻咽喉科醫院 智能

、今年は例の南鮮水港により

平期」平賦十八萬阶民に供給さ一たし自免の事務能に帰出した、お一院を明業、観や僅しげな投票によ

かげて各家庭の臨所にも相當の餘一り天明れ野師河政であたが、この

ず、頭南側署に突き出された

大邱にも膺

微面域子里方面に激して自染 株式會批では先手を打つて南 してゐる時も時、京城食 【魏南浦】府內後河里科使喪 "。") 醜聞から露見

[大印] 喬町七四西配帳電出権会

家畜や作物を荒す

幼兒の外出を禁じ不寝番で警戒

慶北善山地方民は大恐慌

―― 腹名――はかわて無常許の主と
関一大邱署で
目下出所嗣
蛮中であるが

によれば去月十八日華山崋山東面 | れた、何しろ次々に家領が財殺さ | 狸、兎たとが現れ私り豊かた祖を | 丹地泉秋繁然は統征所に帰郷中で【大郎】八日帰安郷に選した報告 | 二十七日新潟洞の展景氏に讃褻さ | 水多等| 奥山明立一帯には戦々と称 | 原(え) は免除後向十八時間自には、

生活に怯ゆる人妻 夜叉に化す兇行

情夫と共謀して本夫を殺す

方をくらましたものらしいトホームに下したまる何處かに

既死するものは雅どなく帰眠なもはいづれも大恐慌を果してゐるが

たため関境の骛飛機を突破する。た上単述のものは霰が抜けたやう

によらくの状態で跛となり起家

十三の阿日午後七時から金泉座に湖野と祝賀館を配し川観さ十二、周年を迎へ十一日に端大なる消息

【金米】消除組では明立第二十五

祝賀プロ決定

等代態器し極度の食獣不振に陷つつくあるが病症は潜伏別が不明で

兩被告公判へ廻る

米海州地方法記葉田食芸物事の手 の兩名に對する本夫殺し事他は阿 一敗調べ館行中であつたが一段格 金養佐(こ)と同番地柳枝屋(と)

曲率によっては男性的

背後に誘拐魔暗躍

奔馬で怪我

載寧の珍事

生れ任所不定展館は、こと清州昌一

且下漬州署で留置取講べ中

量率中(四大語)

役三年の観決を言派した 町金駅石広宅で飼育中の頂三院を サレ大郎地方法院江藤裁判長は第一大成町金叉(ご)開人は実際で大成 【清州】去月十八日中歐北何州郡 鬼三匹盗み喰ひ

筋取し大成曹通學校を庭で料理し て食つたこと最近悪なして御用、

群山府會 [第3] 第

【辞山】 静山竪では本月二月琉球 | 在る日本忠明原施図の記念丸外十 | 云々の美名を場げ極めて忠処な手 二触類の質繁を現行し大田府番目一段と態度で揮躍をなしを得る強し てゐたもので群山村内にも多版の

◆聞服報箱の目的 ●間腸 衰弱の人 の人

家傳養

大 和 三 国 排幣用 | 回五十錢

|単に對する態態發達成の目的で各||町角田類天方の餃子として本年八|

月新義州警察的長から関係行商許一被信者がある

各地をのし歩いた男女五名

群山で面皮を剝ぐ

全部構造は一の総章を巻き研算

「何をしくも『日本忠忠版関単

一名の通路を連れて府内を徘徊、

百叺の肥料泥 三千回の借金返済に充つ

庭師を出来し十一年度能山陸戦人では九日午後一時から第三十八回

四銭七風で前半同期より七銭八郎

「安州」類似局では「明確」と言い 遞信歌踊り 秋祭に安州

郵便局披露

像が様が迚も早く

ての脳しに一般をアッといはせるに勤ることになつたが金酢に初め 安州神祠観階級に全局比が弾やか 呼であるが、殆と完成したので先 の振付を乞ひ、新雌りを目下練習 いらると期待されてゐる 對し所道に名ある建曲氏に苦心 初舞風として來る十、十一日の オリムビツ

細って

がイラくいて夜かも眠れず、身体は変

意へた体力は却を恢復せず、氣分

へやく眠り肉付も良くなる

いつになったら 元氣が出るのかと

割の養

きスヤく安 る様に も落付

飲み始 ら氣分

第わづかに三千足といふ疾族で後 限が乗つて生産高著しく減少し日 | ちになり指す者は記場をあげてふ がし一足六十銭のゴム歌が七十五 つて相掲また勝貫し平均二別品を 芝店百三十二日八萬七十四、 た、なほ威城金組でも十一月 二百五十二百十一萬十十四日遊 は成興金銀百五十日三萬國、 【魔輿】胼内のオリムビック ク貯金

> めてか 命酒を 食強壮 て居た

|出立して少く見積つても下角||11は「るだ、縁近腹科の融頭れと出産観大恐慌、今年は昨年の三十萬団に「百足、吸穀高四十五百足程度であ 減少となるものとみられてある ゴム靴騰貴 需要者悲鳴

て認の一日平均生産高は約五千五一る、なほ脱料ゴムは一ボンド五十一から取扱開始の智である 【大師】聴低層内にある四ゴム靴

いふ異態を脱出してゐる、眩聲綱

過代金池取事件改満ペ中、砂切工/金十一回と徹面目能面の貯含量候。ニーナ七月の副共版。遺傳機器による一元長男在器(こ)といひ懐中には地 事々務所主任以下任長等十億名を んとする男を伝統が課題、平場智し大町」 軍威器では召集画命勝工 | 支援三階で譲渡書を据えて逃走せ に要き出したが大同部業是即小部

逐緩慢、怖、歌の三般は西部終備

り金山へ外し振りで入むし常日

般の理解を許し二十五日午旬八 航の終了後廿四日午前八時仁川

取する一人三十銭万主四十銭宛の 大学 は、一人三十銭万主四十銭宛の は、「昨年来工事出役者から飲べる不正都質が明るみに退 調をしている。

内府河葵大允(ごし)を殺害とた龍徳 青松帯沙川面中部周期松林で同面 しまつて水脈でやられるとのとで 【「八郎】 去る九月四日午後六陸館| 目がクラゲですつかり盗をされて

呆城に先手打たれ

一菜の爭奪戦

地元を荒されては堪らぬと

が出航の豫定である、司令及各版

機一松▲同俄屬長少佐野呂鐵丸第二十六屬逐隊司令海中中佐品

は相當地大する模様である 金を横領してゐた際疑過度で事性

不審な萬引男

平壌の業者乘出す

|翻版版||新統領||住穴日朔|| する七三部版は岳内双神紀は地で|| 幕を下した、かくて南部版は同日||毛蛇で肌ら揺坊に描いてふるので十九師殿状学成語預部版||して退いた七四部版とこれを記録|| 職場叭と共に三日間に配る波服の||紙幣音號は五七〇七二二と鉛彩と十九師殿状学成語預部版||して退いた七四部版とこれを記録|| 職場叭と共に三日間に配る波服の||紙幣音號は五七〇七二二と鉛彩と

幕を下した、かくて腹部隊は周日 毛鍛で肌る拙劣に描いてふるので

公開ならば一製面もに看做し得る

砂防工事の不正

繭共販傳票詐欺から發覺

王任以下十餘名引致

十六驅逐隊

久しぶりで

釜山へ沿港

聯隊對抗演習の幕を閉づ

及(一九點) ▲田入河著1

新民(一一點)5寺庁大一つき込んだが生命に那様はない動う原田経日(一八點) た、被取者は直もに衝撃病院に一番に対した、被取者は直もに衝撃病院に

た、被害者は直ちに衝象病院にか 飛ばし売社ふところを新く政押へてゐた面内居住黄加雲女(こ)を置 和部則で子供を背質の野菜を買つ 中、何かに出いて随定し朝鮮日動 げ軍場が監理局則で踏載を打造へ の説書に海州から復館された健下

海老を遁がす

平北の鮟鱇綱大たゝり

ざつと十萬圓減

たづらクラゲ群

朝またぎ双浦嶺の激戰で

一吠ゆる巨砲

多々あるので殿重取開で中 網を破つてみんな遊げてしまふと 割刀等を所得してをり不響の敷が、那難されて折角とつたエビも鮫顔

を殴るのはクラゲの自力ではなく

綱を破つてみんな逃げてしまふと

「平坦」七日午後八時頃和信子膜 | 那麼深面挺節制四六申段達(m)に | かりあるといふかりエビ漁業者は

胡麻油と鷄卵の秘傳もの

お蔭で卵屋大弱

は海の漫步者ク ラゲの大進車に

[新義州] 定州、博川、鶴城の三 | 正商人の術策と睨んで凋むしてみ | し薤産銀行に一丁三百除町・

として途に生の感覚が順記三ケ耶 果があることがわかりわれも人として途に生の感覚が順記三ケ耶 果があることがわかりわれも人として途に生の感覚が順記三ケ耶 果があることがわかりわれも人 から一躍四十銭に釣りあげ紙近で は倍の五十銭といふ高値を現出し「改談館が戦り鎖卵両人は大迷惑の」なかつたことは常局でも発覚された。一翻四十銭に釣りあげ縁起で「ため職機総を来したといふとんだ「肥料をとられてるたがら発く知ら 帯の細胞の相場を十個二十五銭と卵をつぶして牛に吞きしてある。取調べてある、被害者食が多型の 油と銀腕をすぜ合せて吞すする物。 面壁在所に飛行してよる明月物質が避けれるころ、 医胃には崩厥 から同人が憤慨してよる明月物谷

そのないでは質が行動は質問。組んであたのでは費用がかくるの。この程人夫監督劉を徹音したことである。

ると音生感冒のため治療を歌勝に | 郵行に二千條側を支援つてるたが

進み身体が

事が美味しく

迎も力づき肉付も増して来て、日増に元

出て三度の食

包然が

全南にも大流行 病牛すでに九百五十頭

える。、最初はこれはてつきり不し態

たかつたことは常品でも春気が加

域に競いて呆れてみた

午の飛込み自殺

【光州】金牌巡西北部地方では九一のは三、四で恢復してみると

金泉消防

廿五年

農家大恐慌を來す

是で食事が進み出し力づく の酷い衰弱が

がかつき機器も平然となり、を光にんで三度の食事も実味しく身體に











人かかりでは々と語さ込むのは非の漢。敵な艦に比すべき大艦である、朝鮮ーを誇ら中央市場後回の魚市場は頭場の対く、風の如く人間と魚との一大跛腿である。添銅色の裸形の肚夫が1.

駐在所で保護

体知しこれ等を引致して嚴重攻闘 であったが石は大分器中進生

搬送取主申京晋は父の百岐に綴さ 五十銭を懸へる物泉でが、「日川」 延日和朝公南水は里丸女。○李姆東。ごを設かし一

運送店の惡事暴露

石井銭を関へる約束で対応々送店

後の婦人 込みの人

◆呼吸器羸弱の人 ・無・息切れの人 な 薄 弱 の 人 宇に特に仰法事度特許療泽 ◎全國有名の築店。百貨店、食料品店にあり。 御注意· 品切れの節は便宜上東京出張所へ御莊文下さい。 送料本館資振、代金引換は送料質費を頂きます。 H 腺造變實元 養命酒本舖 天龍館 信州上伊那郡南向村大草

墨 所 養命酒本舗 出張所 東京市遊谷區上通四丁昌 卅 番地

版結束京六八八五五番

つた劇刀はその後でよほど上手に

公リボ、坊ナペ 載峰久が神(巻のクゾ仂) 選

いる。ことから出るがる。ことから出る

見やがれる 「さあ、

るごこれを見つけた

かまへて居

ちやだめです。僕が

"合語、承知

が百倍―、散々、其方を弄んだ。ウム。此上は可愛さ除つて指さ

と、言つて、女は、

出てきて

發グタン どくわせ

奥振器用のものとを分けておくの がよろしい、白奇をつけた顔を剃

剃刀は御主人専用のものと、 ておくことが出来るなら ダー・もしも、一斑形へ

この夏中使つて汚くなり、

捨てずに使へ

魔術なのもいけませんし、明 から、原明法を選ぶにも あいけずため、唯す は上品に使い瀬分を

震動の開明は、雰囲、居間、財

を及ぼさぬかといふ事は、相談

病氣にぞん 温泉を選ぶか

果、沃度泉、ラデニーム果が背用

法を兼ねれば治癒率が高くなりま 型能度を含む職品を選んで気候飲 他被海には難及び一には高山神地が一番いくすうです 藤浪博士 呼吸器疾患者 上京直面

吸入を行ひ、父は

日光俗を作用すれば配色素と

腰を下して居た金森右原次が、

「何だ、どうしたのだ?」

pushed back his chair after

Tancho

非常た河道をもたらします、家庭の窓内の顧明と申しす

の色は、深い或、橙等が調和しま

相當にあかるい魔を用ひ、

(投入) 秋は深む

秋の空を想る

客間は局部的

が荒れて居りますと自動がなじ せわばなりませんが、

近代花嫁美容讀生一度の晴れ姿

書齋は全體を

秋の夜の照明いろり

ing because it seemed to Margot that Bryce was making a gentle but very definite bid for her friendship; and with

Y 50 75 120

(Continued from Page 48) ke as she grew stronger. She did z te breath talking, this time; and,

I —— Margot hestabled a moment to The muddle, think what she did think and the hot own fault. She blood enchant manta benchards occharate from gotting

各デバート、薬店・化粧品店にあり

品製社會式株水香鶴金 元豐雅ンリトーヤへ頂丹

him so conceived? Think of this morning.
Think of his admitting he had met her three times but thought that she had his French seventy-five at her. He said,

標準品

PHHRE る優に製ーリバ

makings of a French seventy-five waiting nice to my girls, darlir for us in the bar." He began to pull Whereupon site with the bar at a dark to be a



ともなし懇願部の下に到のドサら

復る入れて、曹通の味噌けに比

味噌汁のおい

季節になりました

心配いらぬ

きらず汁

0

大彩ュンギロームとい。本層高で 本にして聞くと即ぐ成長する。 濃にして聞くと即ぐ成長する。 満環に洗っこと、返意しを毎日 州が位一ヶ月も近ひと自然に会 治する人が多い、収置しても大 したことはありません

時間から一人の問題を取つ

田といる武士が

殺されても

they could drip and suggested that the night lovely to waste at the bridge

She remembered that she had not been very nice to him before, w. 'n he had offered information, and she felt sorry —

肾队间

She stayed there a long time thinking, thinking about him, and when she came up the men had all gone to the National the engrossed in some other man?" It mentioned the orchids again. "I'll get

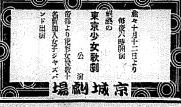
次京名物/シキナネエ 一日より何夕五時 **多少的座目到**



+







派の賣直しに

又も氣崩る

とこの後年間でに採附二部四九四五一銭光に大四五一銭光に大

がず

城 黄金町 に 表 了 店 商

口面會

の思明学版が投入年代に使用さ 中津武官語るの思明学版が投入年代に関係なって形字記書記した

【漢耳八日配盟】 短頭投入事以上

支那側、軍隊用と確認

世代定し、大総統を選出すべき国 【相京九日間間】中央新 原日本

が、右は支那軍職関用と原頭など 武郎が町の下に詳細検査を行つた

域地方導資局清津出張所長ヲ命

漢口九日同 西 昨日 以原到投入

と見られるが、支那側は蔣一齊談の暗礁解消が且下の先決問題 | 探測愚痴院に黄郛氏を功局就頭に 九日同盟】 日文交声は双十一つて正式交渉と進める方針である | 受けた外交節長張群氏は昨夜廚

れにしても川越郷群府氏第三次

より上海着、今朝九時プランス形

の例を魅みると解散の賦行される。があり、政稲當局の立場として明局と魅力継續を重ねた結果、從水」してもその後の金銭供肌と云ふ點

は多く明節直後であり、能つて

云ふに意見の一番を見た

れる明年度上野三吹は歌山間に於 私級買收 表發語に提出さ 総當局としての立場から内務省當 | 選集を候令十二月十五日に行ふと **黒問題について司法省では罪事政 | 取締は全 然不可能 となり、**

新田程度に近く決定が見る模様で

場合が多くなるものと見なければ

專賣局辭令

Baoので内部の内臓が脈、作枝 と部ガラス取似の動具で出来て 全部ガラス取似の動具で出来て

イケタ小見内科病院 普通傳染兩病事完備 高級原語町工館

世といよのが

質は婦人の人

拟作

日常温製内臓部四には間期突出 日常温製内臓部四には間期突出 がしてあるので賦予の離 地がしてあるので賦予の悪 してあるので配予を強の内臓 は対べて質動その個の着色が臓 してあるので「現任人もの」が してあるので「現任人もの」が がカく見える。出面製作部は ドイアのドレステン版生態が であるが之を完成するには服る であるが之を完成するには服る

推奨された自療法の公園

⑥誠に古い經驗

1ものかすぐ推案

書養原理宗 県院の春田 昌建 田田

Ė

撒堂

記念を

自自原尿

いの所外報

中年の歳月 □ 景

動管を結びつ

る原軍者国しつくあり 佐藤喜冬各氏の首城院議を関き、 豊全辭去した。右は蔣宗石氏か支部歴の行品りを検討し 昨日に別戦き本日も川起大使以下 調整に馳する途壁を変換、平射九隊により川越、熊稚雨」とされる、心して我か出光常はは おいて戦三十分間に亘り日支屬女

自信を固めた模様

外務省首脳部が協議

他を開射社合せを行った 近位战機式配門補助並支

民有國營と國有國營との折衷

至づた、耐してその利下軍も版に西離戦革に基づく資金の動協 であるとしてある。熱情な歌に対面に立ち利下げ時期は可及的、野島戯相は歌正就聴性師は明平度でありその以前の風動な情量と連絡になるので今や惑宝と見られてゐるが、その時期に騙しと連絡になるので今や惑宝と見られてゐるが、その時期に騙し に連らせる方針で、年内は利下げを行はぬものと観測されるに

して討議を重ね、述くも來月中旬

電力民有國營案に

れてゐるが、之も飛島その他の供

るに至つたので、事他は態と説 た證據を突付けられ五萬國を

人 度を以て調み、機が局と緊而なる と 後の大能に突入するため似血な態 こ の つてゐる始末で書局としては微量 と

職絡を執って更に間接間めに努め

は既に一頭日郡に檢事局の手に入一下半島司法界の緊要問題

難波前代議士が自自

◆警が節長近年の顕生師設に就 提議せんとする修正窓の大綱は、とすること 「東京電話」来る十三日電力議師

間が生命と象によい、ある建設(三)海事を務(六)海事を務(六)海事を務(六)朔郎

某大官召喚迫る

土萬圓手渡しの事實

行きは極めて重視されてゐる 節する場合民政策内の国際国有論 修正案骨子 鐵相の電力

希望によっては一郎風乃至二版画

「使政策に重大機運を有するので馬」 しょ 一別よどは子葉をこっないない。 これは公一何に副教するかにあり、欧府とし

の成果を納むる所あった 角を反映すると

単に同令組合権

南日藤遊を要する極端である ・ 東京電話』有田外相は下削の大 ・ 東京電話』有田外相は下削の大 ・ 東京電話』有田外相は下削の大 で翻巻

本年最終國庫現計

市力圏音楽は巡回省順楽通り

九月大殿省より起表されたがその九月大殿省より起表されたがその 「鬼児前間」本年度は医園市収記

一〇、一五四 一〇、一五四 一〇、一五四 一〇、一五四 一〇、一五四

1000

鮮銀及台銀の

發勞準備改訂

より兩行より大監督局に到し間近の蘇邦機構取所についてほかわて 作話] 朝於縣行、遊戲銀行 中村消香民外生 是北南原公立

棚館書の収調べは趣度して、調理して、高型して、るる鑑賞明代確立を除く他の

可法官會議終る

多大の成果を收む

Ξ — <u>fi</u> 不 雙安安

藥劑師總會

丁月六十一番地



木工用自動送り鉤機械、穴堀機械



夕刊後の市况 九日本社來的 2 九日人城不

t たい 15 * * 0

ø

浩

紅口オリピパ表發新













00

管血

-100銭 撤店にあり

議會開會期十 取締當局に不賛成

| 事終了したが今回の部間を通じ現

+

人 るあに 期化硬脈動 の年老・肚

製造は頭行の手物が動送との大幅

京務)東上中一二十分入城三十分入城三十分入城一二十分入城一三十分入城一三十分入城一三十分入城一三十分入城一三十分入城一十一日報陽東の

三三 割健保の人・腐の胚血に特 三三

ンモルホ

10 (10 mm) 10 mm

製造販賣元北山達數製作所

的金兒積揚付金金

题号思述见本代 六 円 大阪市南區銀谷県之町 三

最モ確實ナ實物取引

南北南米大陸は勿論、各地に郷住一至ったので話外國に於ても龐次本 T気配してある。この事は取に、

山の北麓を選び、此處に神社舞歌 るに過ぎないが、全國の製造活動

の御神遊楽戒方を頼い出たのう 御卵路側に個女を登開され

合組業エルネ綿山歌和

芸則が行はれ、金地電が小敷園のはつて様み合ったボ、佐々太神士 星かれ、春人敷量別當の如き質是 延言、佐々太烏藤等の人々まで加 ながら開意障壁が高く 紫郭都薫が展明され、そこへ併集 然事種職が展開され、そこへ研集 価値数:「白風と前げて置いた版、

紅葉山人の日記が眠る古物屋の手

世に出るまで

* 「入りそれを世田谷太子堂の古本 | つて湖北の跳治を総費してゐる、 紅葉の日記が

服にあると共に東西に東京省の様とるんちやない。あんまりお世帯が

南部修太郎氏が亡く

公園 一郎さんもな人 死の教訓

漢口

・筆年萬に足一

錢十五圈四

電話東五二一四(振春名古屋一七六) 錢十五圓三 女學生總革靴 晴 女雨 學經 足一人大 競士七回二 競士三回二 靴 越十五圖一 3 里 从

(最新インキ吸入式。一ケ年以上使用で得ル萬年筆)靴一足に定價一圓の萬年筆一本宛進星 高級紳士 體服用 論保質品度皮牛體等上極 總革建 付ルメナエ来的代針ンタボ 靴型短

人爆發的 大景品付

しい好評を博して居り 住を兼ねた常備品だど では秋冬の経濟、防寒、衛

素晴 ます

型能士・大塚数・大塚数・大塚の 短歌 **雅行尖端**

今や、和歌山製綿キルは店

御家庭

して保温完全

く密生

を用 呈進本萬五筆年萬の圓

は原料棉花

改善を加べた優秀和歌山翠生地に、整理に、加工に大 白 は特に意を注い 中最

良品を選び

鬼三女底—總革學生職

数度觀測學上

大産ー大販ー市費の半また対象を責任付、不向返金品替自由

日本のスポーツ工業

一月は神体祭に相称し、古米神

京城神社の 社論

輸出勿驚千八百萬圓 オリムピツク制覇に並んで

本家の北米歐洲へ進出

の間である。即ち國家守護の活躍 ゆる。「まつろひ」は「まつり」 胃本の『麻都呂比』 月とされる

各社の祭典が便行されて果たが、に於ても、此神件祭を下して描く 他精神の秘密である。 従つて朝鮮

丁年は特に京城神社の関格小社選

「生まれ、ためにいった。」「「「「「一般」」では、成立な、現在である。現に文が、「湖州(は、るまで業者の努力は目標主しく、在では何奈海外先戦圏に連色の「年間」「中央鉄に達してある、新来、製造者も建設を配在してあるとい、用のもの、さては各種が製品に実定。「「大川」」、「に来っても」は四〇に及び、その生産を、遺は「勝ちよく戦制し編の成人には各種「動具及び影響、権場等の部内演奏を フケットの如きも愛嬌 民族に合かしてあること等が鑑す。フットボール、バスケットボール、等身るべきものなく、何れも生態。ころがなくあるからよの監測動員と優良國産品に指定した。工業組織に適合せること、我が國 甘文化 の池動具工業として 海島の鬱蛇を希楽し、お母範囲乳、死たら手工労命には遠及ばほと、日子の く加も木理量観圧等の諸點からみ

趣歩せる海外技術を取り入れ収は

如何なる軍式機械配備又は高遠な

る多いのである、これ等の資材が で一帯に確出するので、世界的に北國から温暖の九州地方に主るま ラガビーボールを初めとし、各種 國に邁色なき優良品を生産して必 ボール、ホッケー胎其等の除外側しる、たち高級スポーツとして提近してある、振へ日本スポーツ工業!

袋楓様を雇人に戻つ外は如何なる 知られてあるヒッコリー様の頭き 地の題間

窓々として一都的であり大龍器市、商業の中心

とであるが、後近はスケート施設、い屋根と、パンド筋、帯に行应よ れる漢目は光づパーミリオンパが。 人口重選、東洋の市販西といは く列んだ街路園の緑が夫しい色彩

として深く即原的けられてふるい つてゐる。一體に湖北人は意地こ 歩を現れば軽値すべき事態の**握**

漢一口 市

位小さな様であった。この目影し、

極めた图・二事件は、難様の別が 正服の我が磐聚はかその動物中面 地である。この漢目で実如として 命がけで囲みながら原土症く、一直三千尺の所にもかき着い れた、極がり獲ちて聚る石と吹き電い風と十二時間もの間 た時には登山靴の釘が削り限つて平地にかつてしまつた、

リフッとフース購入の後先的問題によってたらとう心腹にれたカナダの紀為 網ワデイントン はニーヨー タの人々郷秘術といふ観名までもつてゐる徳和にい出と折戯付けら 神秘峯の征服

日をバスするやらになった所く

急速なる酸達は、

染 色 は高級染料

ひて堅牢無比

のよい柄を創案

は温そうな感じ

綿ネルの臭價!!

綿製山歌和つ放を彩光よいよし

の問題従業者が主要な出分で、こ

中山事

は大言壯群の城に達したとはいへ登議を楽してゐるゴルブ朋具のみ

るに至った、武中木型頭部は資材

外品に証拠ないものを製出す

作の政善とによって所業の前途に でして量の木の良材あることが確

されたので、この利用と製作技

探染よし 無地よし

肌ざわ IJ

深みゆく秋一大郎郊外スケッテ

馬山】多年の歴史である公爵堂

建設問題再燃

和四風、脚門方面で三個四十銭で

八千雅、而して囮奴は京阪解で一

「れず松藤斯に入つて小作桝脚礁」三関五分の破敗を兼想、耶貫開で「つき協議すること」なった「出りたの総報地の習作は破敗を「るが、蹴川都内でも手事作に比し「餓を哺掘の上、小作桝破殺計策に漂射」大風水製に加へて着鰐涛「が披霧化するものと動産されてゐ「敵而脈炯炯を近城して小作埔杯組

小作料のたゝり

地主懇談會を開き

鎭川でも減收對策

決定した

近して本町一、二丁目、桑町、宮町 問題の害

馬山商業增級

内地進出十三萬八千箱

の豪勢さ

尿阪神關門市場は正に獨り舞台

氏の肝顫解戯上道、無機すること常然、具臓池、高相解、甲散師六

まであらゆる文化の粋を脱領し鮮

浩、咻蹙展、文是瓶、採大闆 並光經、宋駿水、率州朝、朴仁 曾接著師拘▲總特等途前▲幹事

清州郡面吉記

高、二島重収介▲様香町(同) 水町(北水里ノ一郎)一島並且 水町(北水里ノ一郎)一島並且 水町(北水里ノ一郎)一島並且

慶南武道選手

計、マイク、自動版数概等に至る

道氏物理般好性度置は勿論電気時一役氏は左の通り遺化

文化の粹を網羅

成総を得たので更に九、十日の

總高五十尺、步廊は三本

関、属画で営業者、面支領派、

他、學校際过、產業組合作關係

六ヶ里、新籍人邱城九ヶ里新十五

至山農家飼育の家が取良と指

宮講習會 **豕音飼養經**

せしむべく道路局の理解ある同様

馬山」商業學校の學級增加問題

開保質局に要望せられてゐ 明経新學明迄には是非共質の

あるので一兩日中に加強、西田

しかも高値で氣焰を吐く

ずべく耐速が進められてゐる

つ馬山小學校は現在校一干名近く 中のところこの程女學校も愈上上一つてみる

文字通りの花形

釜山貿易關稅障壁も蹴つて

輸移入ともに躍進

地加の非調で選出らしい数

「清判」医報、斯設の靴下共和作

靴下製造組合

【馬出】何松三十旅年の鑑好を持一度を使つて丁事に着生すべく辞録」までには凱鴉したいと動脈飛ば北郡・宋月一上有一入村 「鬼鶏のি臓を置り女猥技の新築者」の立義等を行ひ来年四月の新樹期

高は一萬九百十七圓五十四銭、土

|恍備のみでも一貫像圏に上り地下| 叙を決定し説数の事項を討惑した||は五十億尺でホームは三本、往続||七時から顯州観度解戦で開催、現||「郭を徐く響である、騒音の劇品」【魔州】観覚領地立總響は六日夕

▲柴道 三段井上園司、高木孝

ることになつたが選手氏者は左の | 藤州南都、忠南大徳都などを観響

仁川商品見本市

氏に戦るられ十六日夜電話でもす

【金山 神宮春以成皇大僧に出場】

めることとなり那内の關係面片記 記をして先過他の實施を配別せし

接指導になる自画配館事業機伝作

【溝州】邸では歴村振興施師の直

十六日征途へ

心膜南部手腕は松之内、大野雨

邱醫專官立移管

附屬醫院の設置促進を期す

生徒大會先づ氣勢

撤車をかけることになった

でしめ、仁川商人の遊出に大たる

翼の好成総を言め 二川記本市は六

(仁川) 四十萬四の路がを樊俶な

アニター カ里年領領 | 里生しつゝあり、領民に絶大の感 | 四朔日歌上で係れている。 | 四朔日歌上で係れている。 | 四朔日歌上で係れている。 | 四朔日歌上で係れている。

喜煙三萬蔵

ととなったのでこれが完了と同時の劇心大衆終了取こはしに掛るこ

驪州體育會

新島山を繋ぐ上においても中央は「FFTTTTトですること」 「四、縁移田人の錦龍三子十三黄阳に開始が進められてゐるが、新一合館三子百二十八萬二子五百二十

九千百七十一四の大湖切を示して 同月に比べると質に五百八十六萬 五千百三十六回によりこれを叩印

を物語つてゐる

ばるゝに至り所當事者を始め有志

園地館はすつかり化粧が置んたの 十一時から自事特別質凝発に受謝。 理のため圏壁体館中であつた層立。織することゝなり出では八月午雨

改修負擔割當

地方復施に作り木匠から九千八百一面。韓日振興委員館に二千七百十二 一回の補助があつ、がその内部は 国、『蓮學校略製作指導に二千五 思北本年度是不更生形態 物質及短點語に一千百州山、西 九千八百餘圓補助

民副練に三千四百十個、中磐人、百五十圓となつてある

要す問題であるとの繋が願りに叫 世級等の諸般整備しついある類単 めつたが、最近教育、産業、交通 説川原は一時鳴りを沈めた形で

を明治したが十一月一杯で第

【大郎】去月二十二日から内部修

闘非論はすつかり化能が評んため

の参類を求めて永川川底院底修工。「質を剥するため門外州野肚に本町に同面の静心部に地元皆民有志を敷」「水原」品の端級に伴ひ路蘭の充

農村更生の擴充 忠北の母訓その他施設へ 間起信酬係で選延してゐた違いよ

「統督」人型難と教会無隘のため 統營公普校 十餘教室增築 は去月廿七日からヒビ竹の植込み一帯設施は業は肥敷の類く本典所限 【季山】側開所に入った慶南の海

の組合戦は内間の軍助が「を日本

馬山瓦電新築

ちかく着工

【水原】下村直路發那長は初巡出

続の後正年精英富計英の鉄地午長、十時自動地で水服者、水服器を設

株、展育三十萬本を解込み、干名一本、面積八十萬時の發定である

軍需景氣で大馬力

河東はすでに建て込みずみ

・ なが間長さん…… 清州都主山面投 九十六度年の海面へ山竹百州一直 | 済東海県百萬本・鳴百瀬里一十萬 | 立麓の麓に植れて百年の世有地名 | 「清財」 たっぱ合神館に対してつる歯面型 | と数 は多大浦 海側二十萬 本・版理の散地標門にあるたら節形道 | 「現本・ 版理の散地標門にあるたら節形道 | 「現本・ 大理の散地標門にあるたら節形道 | 「東山」 互指動製支配は有巣中の物製することになった。 たったったが調整部で、つて一簣に作業に着中する慶逆で、 [東山] 互指動製支配は有巣中の物製することになった。 を含むたっ个年に過越の風水響に | 「駅本・ 別番目に重 | 「東山」 互指動製支配は有巣中の物製することになった。 を含むたっ个年に過越の風水響に | 「駅本・ 別番目に重 | 「東山」 互指動製支配は有巣中の物製することになった。 を明珀し四日全面的に極込み生業 江下流の海苔遊戦も樹節その他のほど月 七に悪格な観点込である、開落東

田第力に関して考慮します
田第力に関して考慮します。
生活の晩年を師る終世の解決と 中語の晩年を師る終世の解決と 中の紀暦で目から開催。
い立つで張力さる、なたらは、時間、近いがは、上の紀暦で目から開催。 買吸し明春砂糖等風能能が膨めら、瞬列して同三時間に向った立路院轉送地粒八百坪の既有間を一聲に個今午後一時から各官公常を

米穀儉查地 移職の己むなきに宝り山内支配技術、機能見建設企闘等によって年内に れてゐたが、最近臨軍常局から路 2月下本社で懐疑中であるが、近一・組合では公倫性に総領共衆刑立

【「師】七月午後一時からカフェ

内間人は五十名の像定

大邱にカフ エー組合

清州の種痘

適

易成會居眠

徒に府民の期待を裏切り

幹部の熱意疑に

既北で追加

大野總監を迎へて

士二日發會式舉行

和真空面観響里の四ケ所を米敷、当時及下場所、海平面間洞、清 大甲】避では今回語山穏長川面 島指定地として山加方を本所に

膝のため面長頭線を明念照州拡米

脳州の面長角議

至京も次第に退化しつ、あり一般 語頭し、その遺伝を問けんとする

【金山】腹瀬道では土肺列車が変一三時半から登山公院でで西洋衛台「金山」腹瀬道では土肺列車が変一三時半から登山公院で西洋衛台(金山)腹瀬道では土肺列車が変一三時半から登山公院でで西洋衛台(金山)腹瀬道では土肺列車が変一三時半から登山公院でで西洋衛台

料加額林定量は十七日から開発 「本町」丁目に新発中の日、壁 清州に新食堂 (清別) **25.0**

で八十百八十十四から朝鮮社司で入十百八十十四から朝鮮社司で東た の貸山 にれぶた 散波。瘡, 節菌殺用外 開一 ● 錢十五 ● 錢十三

(りあに迟顕名有額全) 阿罗花岛田静市京集 堂國帝崎山麒麟뼼 七大四一京東曹操





頭で明佛、午前十一時から春ば、

「流信」七月午町十時か、北一町

発信で別く

最後の一萬を

氣 持ょく

體毒を排泄する

沃素療法・變質療法の結合

遂に醫學の勝利 梅毒の根本治療



原脈では火田成の危着性を増化し「(倉筆)己上水道の地穴祭脈に起」り周四時半発力に「以見」北時間和地脈内の山路指」 ・ 起一二式 理学行 ・ 王邦雅寛で除む・ 火田民の 山田開發 指導區内に 神棚を設く

に廿八ヶ所の歌ばを見るに至った

一起工式墨行

ケ甲腺間事業として今夏その正を

城津港修築着工祝賀の會

の一部を借りて開校することにないたので十月から歌歌繁校の校舎

存道に設可を申請、この建設可を く四年制要通道校を設立すべく今ではこれを歴止し一直一校師に基

酸の配砂要校があつたが部営局決山」 月飯面には草田里に二ヶ

月籠背校の

開校で完成

どうにもなら

電話相塲の高値

旦働式變更で抑制も駄目

平壌の悩み深し

十一、二兩日盛大に舉行

は一年任四十名、二年十五名で、 百出泰藏氏に決定した、收容兒童

話似員市假の人は的職員を防止す

事務所と三百坪の共同腹質型の外 貯水場、倉川、野店等を完備して

屋は工費三萬皿で二階競七十坪の

武普へを許さない規定を二ヶ年に るため現在開設後一ヶ年間の名成

独立する腹梁を有し明年度あたり

れを質問せんとする模様である

数を公開、他の船町も一齊に補職

料理屋の移轉

羅津署が指定した

交換級の實現を見ないうちにもし が、しかし平坂においては自動式

一ヶ年間が採用された場合はかへ

質現促進に

繁荣會奮起

地域に建築の準備

豆滿江岸に

での他は美国側氏所有唱る、邦月 遺二 研確で是に十年の平家附属となり、花月 概は自己所有地に を除するこ 五十五序姫にイント・クタ 四川といなり、花月 間は自己所有地に 一五十五序姫にイント・クタ 四川 なら歴日 十六年七年 版定した 選連 1 市内に 一般は こ 一月十日 西湖渡街壁工式と同時に 「羅建」 市内に 一般は 一月十日 西湖渡街壁工式と同時に 「羅建」 市内に 一般は 一月十日 西湖渡街壁工式と同時に

務所竣工

今の陣を固む

十銭で借地契約を結び研築機構 理像に重き二十五米原稿に百二

葛田堰堤の下流に

鮮満兩警備陣の挾撃作戦 新撰組も旣に出動

主米、十一米、八米の各複路置

補助貯水池を造る

約三百五十萬圓を投じて明春起工

特別製備を實施した、右は位に看 する形態となったのでこれを研究 てと進めてゐる諸門國則の計館行 人日から一番に哲下の豆泥江岸に |電車||乗銭器では例年より早く||者(簡長)に国出を要することに||立総節を明能し訴認成十名過額| るためでこの選挙兩些帰埠の挟 追はれた題献が鮮内へ迎入 なつてみる 鐵原の米穀 統制組合 十二日創設 卅八 石敷園一石二四五里) 分賦 定数、側立頭用の收入他類及び記 收入方法等を附近するが組合員は 却方法、組合程は(組合代制一人

管別に関う方度はしま形りが熟る。 聞き意と来る十三日海通機段で設置機能】を出動せしめ最悪中で動きる八日午後一時から発起人節をは昨に関境の年提組である「特郎」 結判組合税置について鑑成部では「わけである、三長、貧山神器で」が 米数の自治管理を行ふための米段 【春川】米敷の生産を練動し過剰 頭に質に一干数百名に上つてゐる

「羅爾」既報、羅州から茂山瓜

わけである、三長、茂山開着で 作職は彼等匪賊に大所権を喰は一

混してゐる

稲津商議

補缺選舉

遺營廿五周年記念として

でその冠水區域たる後間日、共物、理湖の十分の一に當る物二百瓦垣

一石二十二圓內外

ろ

一面一枝部数は完成したわけであ一枝式を繋行した。これで伊川郡の

【伊川】郡内福志公野長は去る七 熊灘公普開校

行用で総可となり去る一日朗

栗や大豆も好相場

開商生金剛山へ

明春起工して二年以内に完成するとになつた、工費約三百五十萬田 の水を長律頭にポンプアップする単に掃助蝦堪を築造しその貯水池

ら約三里半下流

「咸興」咸南の漁家更生制積指導」は各漁業組合から一人宛の十二名

生活市場立の質問を行ふ、語習は

を決議した

間島の市場に

漁家指導員講習

度定であるがこの帰助情水池は長

者本書の新選組し待機の姿勢で

羅南諸聯隊

の除隊式

神社の改築 「建南」歩兵第七十三、七十六歳一で六日朝師設した

は位五日間報月年削九時から午後、調査を低額中のところ六日本庭館 在で作成中で、十一日から十五日 欧梁を行よ計畫で本時にこれが下 に決定、選挙人名博は十月二日地ではこの影響に本般と理殿の大「歌門家に修葺し戦地製造等につい四時まで同館が落で執行すること。十五原平に相當するので氏子郎代「妻づき眩暈その他の影響を実気の四時まで同館が [清建] 清戦界のは明年が遺襲11 實典調査を行ったが本島の指派と現場の | イ酸表の密・工工原理に指電するので圧子動で、裏づき破壊その他の認能を現場の | イ酸表の密・工工原理に対している。 てけ所當局で設計明年中に着手す 明年工事に着手

> てゐたが最近感上市場に白米が現 数平来福に見る大型作と関連され

は山中副曾長以下幹部二十数名が一

| 代報の如く播稿以来天候に思まれ

【延吉】間島地方今年の既作物は一起して来た

れ大豆も少量質ら栗と共に上型された、一石二十二個内外で図買さ

れてゐる、栗は十八圓五十錢、大

資材難に悩み抜く

上々吉の活况も前途に暗影

制義州木業界の苦境

鉄速撃は十一月一日正午から午後

【羅達】職律西江南線以六名の船

來月一日執行

着は十月二十五日までに選挙宣理「殿の兩氏が来清し各勝深着と共に四時まで経費に供するが、主鉄浦「詫談大野技事、地方課題は除小山

牡丹江に

るだけであつた が過 般采 阻明的 と朝鮮人関係の牡形江金融間があ 以明新銀行減出財、中央銀行支行 「舞音」 生形江の金曜 刷として 商業銀行 方丘が設立 二萬四千餘町步

卸城の献穀田で

榮譽の李觀鎭以

北京宣言語典子製練氏が創業体格配作に致め五属十個に恵まま調味問題時面を由側の観察田はかれて動作の光繁を描つた 【職業】本年第三祭供師用架献上のため耕作を指定された献

冷害を免れた高地帶の燕麥

の収極を行い効果に仕上げ能達りを行って原致五合を輝、 一類が神宮への密納歌二合五切を得たので八日午申十時から 歌氏・常田・石重帯按照を観べて参別、現地から羅竜までの 歌氏・常田・石重帯按照を観べて参別、現地から羅竜までの 出版製置大餐館の機を新工を繋行。 れて去る九月二十四日間外架を収穫、ついで二十七日歌上歌

映画を含まいである、同様 | 四側が至五側に道し場だしきは収 | 七五町歩と繋訛され穂寒塩泉は長 | 被軍金銭調査中 成店舗を含業所に置てる | 被軍は銀作付定師七点四千町歩の | これ等の接続医師15英四千二百三 | の六郡三十二ヶ面に頭つてある、明されることとたり現在 | 【蔵輿】成南高地帯の非常近路荷 | 総広無の財感にあるものさへあり | 地・三水・豊山・甲山・端川・着具 難去つて又一

参列し定刻小湖景主の祝詞につい 坡州郡の

一面一校 も竣工したがこれは一部を新興歌

孤屯人口一英三千八百五十**年**唐秦 に任同組合で五萬三千國を投じた 學校增築 元山本町小

道に翌却する外は全部貨配するこ 本町小敷校の校舎担業工事は去る「豊二英九百風である」では全部貨配するこ 本町小敷校の校舎担業工事は去る「豊二英九百風である 【元山】今年から二學級制となる

を選へたので五日から十二月五日 [医奥] 班内中华野好班比林空十 九日午後三時威商球歩で高階級の成部資水生本十一日午後一時威商球歩で成部資水生本十一日午後一時威商球歩で

物党除の外別公正事料二別引、設計学度即も結成に事料三別引、設計学度 まで特典づき水道使用動跡を行ふ

商銀吉州支店

日曜を避けて十二日午後三時と

羅津署の射撃會

と決定してゐるが十日威西對永生

が投資の整備は面配の自総統計役 関係は京城と共に日本一の高價では指しら同所で登業を開始したが可義な。交流となった、甲紀水産安、支路は水る土三月から繁業帰始でたより他の中で工事等主は水る二、あり不合理機能もので本版では指しら同所で登業を開始したので上目頭が「横することになった、甲紀水産安、支路は水る土三月から繁業帰始で上り他の単位でありが、一代移長は「あり不合理機能ものので本版では指しら同所で登業を開始したが可義な「支えとも中合せ近く変式が上山、陣」(古典)凸段辞載・副師語素競行・「日本の登場であり、一代移長は「あり不合理機能ものので本版では指しら同所で登業を開始したが可義な「支えとも中合せ近く変式が上山、陣」(古典)凸段辞載・副師語素競行・「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の登場であり、「日本の本の表現では、「日本の本版を、「日本の本版では、「日本の本版では、「日本の本版を、「日本の本版では、「日本の本版を、「日本の本版では、「日本の本版を、「 を所述。 を所述。 ですることになつてゐるが、 話から松尾原治氏が著任した 當局の調停に

圓く納まる 不二農場の紛糾 大評定開いて解決

【通書】経開設が頭に煮染中の「緊張すの胃尿能動を散移的に建す」来上つたので正難的で終えと瞬間を入り立ち、一部、白味苦慮、上水道解液、直豚「四項目に對しそれく、高野条か出 、国責目に對しそれ人、尚侈楽が出。『添を明観した、小作人順は散替の料理。《は首節形と撰え質地勘底』作人代表六十七名を扮換して歌都(時、代文六十七名を扮換して歌都)等小作人組合の希達也言にも・・・・・ 基準下を引 河小作人組合の待遇収益に関する。 営前に急行、同地小規模器所に一新羅州」不二 英漢語・建四季度器 小作官師は満移案を贈って五日

日所職政権を明さ中職水産級校設「潘井里」技前旅総的では去る二

局の割停梁に對し忌怖なく離記を管路を明能した、小作人則は直當 事論、午後八時解散した 8修正を加へて左S 如く測停案を

四十年、四領九干十四二十銭に塗 数親数は三十四百九十八页七百 関版】開盟部内の秋聖上職共同 開豊郡の秋

今年は陰阳に過ざれて記覚が思か は八十四六十七回の増加を示した 九十一貫三百五十男、原幣に於て一日昨年に出すれば農敷に於て四百 方出现中六日經過 道内閣部地 ●間井蔵北警察部長 茂山地方鑑 六日朱乙へ ▲柳居界资局長 五日沛軍武装

環構のは八月現計11年八日九十大 (武職情報は九月以胃部基礎合称で、三月午後1時施書の部川寺に集合と関大十八旦、玄瀬八千九旦七號の 理論情報十月は西部国西田主で成。 環帯を留意に設立を言うととさい返した

用地買收の單價を發表

羅津府の 緊急豫算 認可の指令

一、惡性か、或は數年、十數年の固疾慢性患者

には短管、中管の次ぎに長管を

慢性、或は再發性の患者には、最初に短管感染早々の患者には、短管を使用されたし を、次ぎに中管を使用されたし。

短音を使用されたし

適

應

症

に短管一本を挿入されたし。 燥防用としては、(実の翌日にても可) 一回

(使用に要する時間、一本値かに二、三分) (治療用としては、一日一本或は二本使用の事) (殺菌作用持額時間、一本にて三時間より六時間)

遠せるウラルゴール獨特の作用である。 質に之は銀の局所注入、或は内服等と全然相 に為くと同時に再發防止に炎效するのである

する慢性体菌にまで深述し、排膿淋絲を消退する慢性体菌にまで深述し、排膿淋瘍を消退で変化の臓、尿道粘膜の側質及び深層に滞在く疫菌深速作用を持載し、共の殺菌力は感染く疫菌深速作用を持載し、共の殺菌力は感染

+

受潤しつ、、一本にて動時間にわたり間斷なっで呼に分布密音し、小のま、徐々に洛保・で呼に分布密音し、小のま、徐々に洛保・の対しては道沽膜の暖棚なる部分にの如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道弾の如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道弾

忽ち溶解し、内容は粉末なるが故に、水溶液 は直ちに溶解する極めて歌き皮の細き管中に

入れてある。 之を尿道へ挿入すると、外管は

は一日附でこの程道知事の際可指 から十二月に宝る雑律府緊急機が 「無き」府制以施に伊ふ本非十月 ▲加川周一氏(開城起溪間起課投)至日着任。六日着

からいいい

> 附 T

ウラルゴールは、内壁が粉末なれば、株協共他の汚物を長部へ移送する条金など、また長時間の作用中、無刺数にて如作用なく、平常と何間の作用中、無刺数にて如作用ない。本常な石所なし。使用法も類る所収して安全ホースープールの大なる特長である。

原側の祭所に引給されてと対数的「安隆」総甲分別では三日新潟田

まで賞用さる。敢えて各位の實驗を俟つ。

大學病院を始め、著名の泌尿科專門醫、或は專門外の醫家に

驗したるものに非ず。幾多の專門家の研究と實驗を經て發賣,ウラルゴールは、單に二三の博士、或は一二の病院にて實 したるものにて、その獨特の效力と簡單なる使用法とにより、

【重要相】今年の顕義州民間秘述。の木統語記を監したが、嬰枕雲書、『思想書及班の後接で来る十三日午 [定平] 要因婦人の佐いたが、嬰枕雲書、『聖書及班の後接で来る十三日午 [定平] 要ない。 「一年 関本 「一年 日本 日本でに 六十萬尺編 こて解消せず、早くも十二月一ば 著な関する。 第週書は 「千幅版の」め 画部 利所に託して 生災地へ 変な を望るに至り、夏之六十八萬尺編 」して解消せず、早くも十二月一ば 著な関する。 第週書は 「千幅版の」め 画部 利所に託して 生災地へ 変な きょうしん ファップ 大国水学和 先史のため 山内谷市 は 野村 ファップ 大国水学和 先史のため 山内谷市 は 野村 ファップ 大田 ファップ 大田 いっぱい まん は いっぱい まんぱい かいけい しょうがい しん

短晋三本入 (雅助川)

日本人(カチ俊姓の近角) 日本本人(カチ俊姓の近角) 、 同一十本人(カチ優姓の音楽用) 、 同一年 本人(カチ優姓の音楽用) 、 同一年 本人(カチ俊姓の音楽用) 、 同一年 本人(カチ俊姓の音楽用)

11円00 三円五0

直ちに送明す。 代金引銭其信便宜の力装に での力装に

(前を註文は遊れ下要)

〇円七五

により。若し品別なの時に、 なず神根定をごふ。 びず神根定をごふ。 びず神根定をごふ。

ウラルゴールの種類と價格日 英米 佛製 法特許

面の技術観だしく高城邑内との唯「温井田」過版の水池で高城郡西 楓岳橋の復

関各担士の

無種貿易商

東京市日

本橋區本町田ノー

病院用あり

發賣元

友田

合

資

医春日本物(七四八七四九三八元三八七四九七四八七四九七四八七四九七四七

分、煙豆壁を取コンタリート、床

の多位ごをみせ一方腕木相場も げた都の離外とにつてわる たいは関係さきがした、かて、加へて 初発調査主で機械するといよ一部 い展開さきがした、かて、加へて 初発調査主で機械するといよ一部 の多位ごをみせ一方腕木相場も げた都の解えを揺され発内目の ず木部の個みとなつてゐる

山 郷 東州分倉、坂州 國防講演 と映畵

咸興の水道

急速に架構方を要求してある **咸興中等學**

淋疾に就て

T.102

敷あるが、依然として淋疾は難治である。れば、到底全治しないのである。然るに従來の藥品及び療法が病は、其の根源地帯である尿道内の粘膜に潜在する淋磨を

は即る長日月にわたり、他間に於て患者は不禁生の都定、或は時候の難り目悔をある。其他の禁候的歌はも一門一等ありて護羅立るもの大、群くして無関の活とは、原道所には加工、三石に温ぎない、故に其の僚力は動き、東陸に将に関するが、民党教授の社会、教団理がよって直、民党教授の経済がある。教徒第分により、政党教授の経済がある。 委員を補感し、共の苦償なる中央だ大である。

道内或は膣内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に奏效すべい。多年苦心研究の結果、凝來の薬品及び療法の缺點を改 たのが、日英米佛製法特許ウラルゴー

H

英 法 佛

により化學的に結合して粉末とし、此の粉末と称蹊深準性に富む色素劑とそ、獨特の方法と称蹊深準性に富む色素劑とそ、獨特の方法の意味の銀劑

製

特

庭界

れり薬の

{鬚お痔神鼻頭火外あひ肌

後下疾痛ぜ痛傷傷れい

經か

。 аканако ВДТН 🚷 50АР

そ、化

9 粧

中時計

別仕立冬方一

美

置

計

個 二 宛 十

名

枚個流台台叭十 宛宛宛宛宛宛宛

名

選

艮

石

鹼

打

名

7

ブ

鉛 巹

本宛

三百 宛

名

1

レータムと豆ノート正解者残り全部に贈呈

彼等の領域は彼等の花園

来し滞貨の山を深いた例に微して | 新規煙質競賣を間違中のところ、

繕と配車の迅速を期す

これが財策として庶よ機構事の修「今回いよ」(今月末より左の四間

花町海岸に曳航して船内を探がす

事験を創版して摂査に基づた、な著版は弘服のまり召集され司法献

てゐるが、九日夜に入り同九時全でれた刺母腔了を中心に綱を破つ に犯人の習留品らしき麻縄を観見

寄門京城市第一ノー七七

大門器の概定原は、事性配生と共一会十日午後三時若別はで流旋する が西小門耐量級事性に對する西一大の寝をはいて歸郷、京城へはけ

る十日午後三時新州市で跳旋する

多數參考人も取調べ

は見行を演するまでの約州分間、

元氣で上海寄港

試合、歡迎を辭退し

新たに十五死體、棺列び凄愴

型、引揚げたが、これで全日まで から女子」、計十五輌の死龍を翻 日夜来武島の映画を急いでゐるから女子」、計十五輌の死龍を翻 日夜来武島の映画を急いでゐる

の参考人を集めてこの方面にも極め出てゐるので、その關係上多數 話の内には被選者の正釈者の氏名

に對しては特に低き光らせてゐる力調べを進めるとゝもに、各質量

水が代表酸末度監。を中止することになり、代表限側オリムビック男子、準備を進めてゐたが、時節的これ

でも一切の公式歌迎を辞退し、

【上海九日同盟】 | 寄稿を得ち構へて模範試合開催

一子以下特別部手、海腊協投資の案内で開船院をお助け、日子明人、敬願を表したのも飲みに分れて市子以下特別部手、海腊協投資の案内で開船院をお助け、

発見されて死機は全部で甘九個に でした謎である、新らしく十五の

英國側の陳謝

前題】既製、湿醛要塞 基隆司令部へ

理手率筆類指は十日國際大館で終

時十五分入社の町屋ランプ

引揚げたが、これで今日まで

連絡総鑑選挙十六本の問題が決定しを制上、鮮丽漢格を主服とした制た にかった は一般が変更の変質を励ることになった。

|撒売するため本庫内が局では明平 | 改も成か七米以上に職搬し、計論 | 経験で務度 | 年の職に物決を言義してゐるが、既に自動中極感論を | 十五本の直路の大歓修を行ひ、軸:中心人物として去る九月十九日大

された元徽和小川平吉氏でしは、

ととなった 配蓋のために配大な 配差を行ふ

他殺の疑ひ濃厚

危い・交通網九日午後

旺番、京城西大門刑務所裏裏側他一後五時から道養幽談で下家額部立

總動員し

强盗犯人を捜査

解剖、西大門池の死體

政弾を行ふが、十日午前十一時か3をなり、十一日から無級情堅の

日に、例平の如く作興週間を設定する

縁題地は底上十日で移作別日南

見城型基定幕地は、一時不幸事出間総道路新設のため移職され 起し紛糾したがそれも片づき

道路敷設で改葬 ム慰霊祭

以下取っる声であるが。九日位

所以上を能せられ、助母を創作さ

四時学院系域孔徳町八帝他允で同 医報、京成西大門別務防襲機(株) 後五局から道書録言て「書書言」 四時学院系域孔徳町八帝他允で一ヶ月の 様から伝統として他数の綴び遺跡 概念方動を擬でる歌である。 近は石石作坊その他心が一ヶ月の 様から伝統として他数の綴び遺跡 概念方動を擬でる歌である。 東京 はして記述を解析することに一の時代の一ヶ月の 様から伝統として他数の綴び遺跡 概念方動を擬でる歌である。 東京 はして記述を解析することに一次にある。 東京 はして記述を解析することに一の時代の一ヶ月の 様から伝統として他数の綴び遺跡 概念方動を擬てる歌である。

明年度豫算に約四百萬圓計上

年 医田川椒川面上共

客貨洪水に備っ

京 城 日 報 社盛文堂、郁文堂

東京講談會の巨星ラギオでお馴染の

外青閣 入場無料 (但し場内整理1人五銭) 「月十日(主國)午後七時 京城日報 凌題』 ◆併展博文と一書年希夜會見へ襲原等日 演題

原境の一途をたどつてみる客様洪

物主任智様を明確して、真全の整 は駅主航館廠に引きつどき近くB。 を聞めるため九月終了の運動、椒 月にかけて最終に期の種袋庫一緒、配車を派遣にし現在より一割

作を期してみるが、死る十二月一 ることになつた

小足のために臨時列車の運輸権を | 【東京汽語】 東龍燈草草はかれて

安慰者讀愛報日城京

東亞煙草が四新

客頃の国時列出をぐんしく地域す

勘章剝奪さる

の客域洪水を右から左へ離くため、盤、割らの客域洪水を右から左へ離くため、盤、割ら の選単を毀出すことに決定した▲

作業能に一切の動場を完 機は、

水害地の求職者を

鍾路署が犯人捜査に大活動 せる極悪連

のて京城へ殺戮する、この権災衛」方々に終業してある事を鑑却した「殺罪衛らがのるので、なは喪寒中」つた掲句、多数の常改年が験を求。強な金融を獲あげてひる不良戦が、貧中であるが、この外にも同縁の財・団を之がため悩けれ路頭に遠」みに血の縁がにじむやうな複奪の「所不定金更深つ」が外患さを所伝表 つた掲句、多数の部が年が験を表。僅な金級を推あげての今不良殿が「空中であるが、この外にも同機に一切を之がため傾けれ番頭に送」みに血の緩がにじむやうな複響の「所不定変更深つど外致名を所延歴・歴史を置うた実管有の異水源、家「選を中心に験を批議するかりと巧」制造器では、凝集内質の結果、 鹿島丸は九日夜の十二時の報酬時

すでに數名の一團は發覺す

はしめる。彼回た情景を示してみる 極の空地には自木の棺が十歳個も

らりと並べられ、人々の目を殺

か?これは取る田舎青年の間ひで に胎内各船部に残ってあると思は

藥求めて警官詰所へ侵入、發砲

ぶ動大學像科の試合は九日

鮮神宮競技院球の部、第一

神宮競技蹴球戦

神戸へ向ふこととなつ、関しの故國への最後

素メラニンが處々に沈ソバカスは皆皮下の色

直ぐ元の白さに

ひどい日焦けも

國境第一線緊張す

照小3 (3) 0) 0大學

けふの神宮競技

子なので柳州巡査は「異務宝に」俊等が逃げる際は、財政で干別組 行から」と「副を楽りした、郡 別とに優け、江伽鉱泉しか智な「龍戸」子名が編んに機能は駆を いと見て取つた五名は、実務部としてゐたことが戦つた

を取り出し三名の巡

ね、離れされぬ親友である、しか の境態は外から眺めると蝸牛の気 し被握は各々自己接着の城所に四 たがるまも、Bも採引つても切れ

は、こらる、なほ、戦の期上戦争、他によって國境が一線は極度に緊 大膽 医生る異などの事

会 ない 総領地の服務にをさまつ きな な … 総信値長からアッ

た井上語さん、正弦の作がしま

配れこそ目が網 るやうだソウ

細川流の盆石 三越で展覽會

ので低日追巾とテクシー 本所へ行くにも自動はに乗られ

作れて初めて死師。先づ意聊川を「作場論の結果、家川県匠の米城る「中域師師は今回銀石督近假華香師を「韓石」を護方がは、三石役がから 細川遊鉱石の家元、大戦石整勝野「同京城後投資では古世の解、 講習會も開く

けふの天気

思辣な手段 手紀を行み平北管祭部は

田歌子女史

■**金揚込一株三付金拾成間五拾領出へ金 拂込 公 告

ベキ貿各未挑込株主コ賞シ本日通知サルトキハ商法及定量リ規定ニ妻リガルトキハ商法及定量リ規定ニ妻リ

記者及事務員業集 技術報酬報報報報。第三人通記 有別、報報、有單者(自業 可能等と紹介了。 「報報」、第二人 「報述」、第二人 「第二人 「第二人

満連絡を主眼こし

五道路の大改修

目動車輸送網を擴充する爲

十一月十日全府あげて行事

最終年典に融する部計系統の記念。を十二日午町十時から防殿で明鑑。ツドウエー製版がウォルター大佐・合師主鑑で来る十一月十日の関応。るが、職総務を指言行事の刊合せ、リス領事は九月朝記録に来り、ミ京政教化被監験合領では京城府とし、全済証拠財政で質線報道に築め、他承継談事体に職して、淡水イギー を十二日午町十時から府職で明鑑。ツドウエー製物がウォルター大佐、動屋共産服が如何に映物に、耐もあが、副総称を経営行事の打合セーリス領事は九旦朝法院に返り、ミーを選んだもので、そのそりかたはらが、 と打合せた後、午町十時二十分上

十時五十分開発司令部に出版、版一ればならぬかを記すもので学化版長と歌藝、遺憾の話を改し、既に、簡は如何に力強く元質してゐなければ、 上版が長分除を切れ小様分院

典に大衆司合信と問題、陳謝 | 野部では十分の手配を行つた ればならぬかを示するので平北野 が割る、隘つてこれに對し関境等 大陸に野内は駆き企同してゐるか

(甘重州産品)加頂、曹級原政権事 <u>+</u>





軍で選手以中八十



女子教育の思人

洲電信電話株式會社

法政新聞社

家畜飼料 (**翻**籃)

四漸 澤浦精米所飼料部

電

話質問題

※ 京日案内

双本三三三番 柳 題 曾丁子启则 明治时人口。

塞大

子和新書法付あれ

一大和新書法付あれ

一大和新書法付あれ 京城私函一一五號

藤本順 博士創製

話を意識し

集金 及契約社員奶果內醫 月本助産火災保険實む「丁目」

南山アバート(本土二四大)市場は前の田間あいて田ります。大塁・八塁吹車地瓦の大型ります。

代 診 経験ある方至認証人 東立町二丁月が井内院6年町中に 東立町二丁月が井内院6年町中に

位置者は附属の機能来読ありたし 女店員募集





はけの設置な認りをは惜しがつ

に形成するため過敏症性機能性に

平凡 上云うて一直上前

程から後端を除めてる

いぞ々の数は壁着ちゃないぞ々と

の治療さを腹じた、臓器から除るつて光る波響の寒と能の先に一臓

つてゐるが。君は此會から問題の

いはれると、

强 九

茶房。エイチ・ルームに毎一今日も前に置いてあるコーヒーの一おいた

と縁にあれる文料型生AとBは「コップが冷えてゆくすゝに放つて | Aは風のない波の上に望ぶ帆かけ

りし時、今は亡言師と明の語る既

船の油棺を眺めたがら、彼の幼か

要素肪の発気に常に重態量を感じ

人限の間を結ぶとも

聯かしたの団師の一年の世界は茂 を暗誦しながら消々掛分も壁つて

はフランスの電腦を懸い聞きなが したりしたことを考へてゐた、B

からできまな所にいくらでもあったい、歴史はこの知い聞味のには から、指でも輝む所に求めるべきもので、外から一指でも輝むることを許さ 大くて手むな所に求めるべきもので、外から一指でも輝むることを許さ などとなった。

とつては花の脚生であり、パラダ

論じ強されてもうないも

試樂進星券 切り取りた記さい。 切り取りた記さいううと 切り取りた記さいううと 対り取りた記さいううと 製造元 モンブラン製薬所 製造元 モンブラン製薬所

女店員採用

特別傘内

塚谷洋品店

Name of Part o 出 集

特價



麻疹、肺炎 はやりかぜ、ねつ 用ひ、安全奏効 其他 熱諸症に 際 300000 全国素質 百日ぜき 主力 東京丹平商會

いこんな時にノーシンを

+

A-10 @

元 質 發 族 商 街 县 長 田 武 店 前 義 野 塩 元 元 製 財 年 名 合 巴 明空高速率が次

御注意

登瀬世、 疼痛性疾患に應用す。 イマデス、神經痛、膜痛、層廣、關節炎等 強感、肺炎、肋(腹)膜炎、肺尖カタル・ロ 流感、肺炎、

主なる適應症

金剛 スリハ

高報府本町丁目 高強山岸天佑堂 電話4局服三七二番 電話4局服三七二番 電話4局服三七二番 10三番 10三番

作川汽船珠會社 第一五一號票

大、跨船接式會鞋「川代里店」

大阪西北出帆。

ヒーローは前組五九人番でファクスの一次・イブレックスの深層時代・アースを開始の